

朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.28 平成21年6月1日発行(通巻第28号)

Vol.28

平成21年度 朝倉介護保険事業者協議会 総会

平成21年4月25日(土)、朝倉市の松屋ガーデンパレスにて、平成21年度の朝倉介護保険事業者協議会の総会が盛大に行われました。来年度の新規取り組みとして要望の多かった認知症サポーター100万人キャラバンに朝倉市行政と協働で取り組むこと、また、定期開催のスタッフセミナーと併せて福祉用具部会を主管とした「褥瘡(じょくそう)」に関する特別セミナーの開催について取り組んでいく旨の説明が



なされ、満場一致で可決されました。

また、本年3月まで、当介護保険事業者協議会の研修部長として活躍された中原周司氏(太刀洗病院)に対し、その功績を讃え、感謝状の贈呈が行われました。

なお、平成21年度の事業計画、研修計画等につきましては、協議会ホームページに掲載しておりますのでご一読ください。

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://www.asakura.in>

朝倉介護

検索

事業報告 I

平成21年度 第1回スタッフセミナー

日常生活の中での看取りを考える



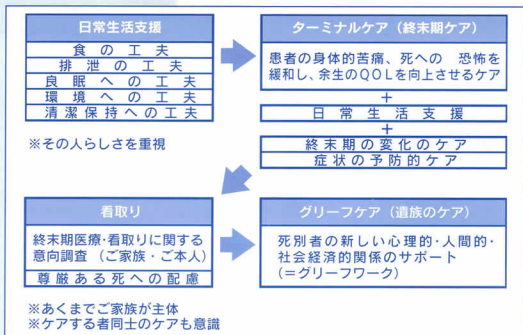
平成21年5月15日(金)、朝倉市地域生涯学習センターにて、今年度の第1回スタッフセミナーが開催されました。

今回は「日常生活の中での看取りを考える」をテーマに、福岡県看護協会 訪問看護ステーション「くるめ」の小野幸代先生を講師に、私たち看取る側の心構えについて、死というものへの意識やQOLについての考え方など様々な視点から講義が行われました。

死とは特別なものではなく、日常生活の延長線上にあるものであり、主体は職員ではなく家族であること。最期を迎える患者さんにとって、いかにQOLの高いケアを提供できるかということ。そして尊厳ある安らかな死とはどういうものかについての解説がなされ、介護職の枠を越えた私たち人間にとって永久のテーマである「死」を考える大変有意義な内容に、聴講者も高い関心を寄せていました。



看取りのプロセス

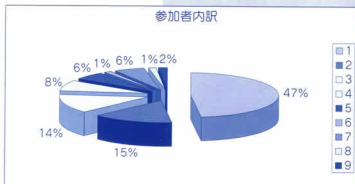


事業報告 I

平成21年度 第1回スタッフセミナー アンケート結果

(1) 参加者数 336名

参加者数 336名		
一般		
1	介護職	161
2	ケアマネジャー	50
3	看護師	46
4	ヘルパー	26
5	施設長・管理者	19
6	PT・OT	5
7	福祉用具専門員	19
8	地域包括支援センター	4
9	その他	6
合計		336



(2)

事業所	数	業種	数	職種	数
旧夜須町	20	居宅介護支援	29	施設介護職	43
旧三輪町	32	訪問介護・入浴	15	介護福祉士	51
旧甘木市	97	訪問看護	9	施設・病院相談員	10
旧朝倉町	50	訪問リハビリ	2	看護師	30
旧杷木町	12	通所介護	41	事務職	2
旧小石原村	7	通所リハビリ	4	OT	3
旧宝珠山村	17	福祉用具貸与・住宅改修	17	PT	1
その他	26	居宅管理療養	1	ST	0
	261	グループホーム	22	栄養士	1
		介護福祉施設	82	調理師	1
		介護保健施設	15	通所介護職	17
		病院・医院	1	ヘルパー職	20
		支援センター	9	介護支援相談員	41
		その他	14	支援相談員	5
			261	管理者	9
				福祉用具相談員	16
				医師	0
				行政職	4
				その他	7
					261

(3) アンケート回答者数 261名

1	非常に良かった	101
2	良かった	104
3	普通	11
4	良くなかった	0
5	未記入	45
アンケート回答率		77.7%

(4) スタッフセミナー参加のきっかけ

1	協議会よりの案内	90
2	協議会のホームページ	0
3	事業所からのすすめ	139
4	知人からの進め	2
5	その他	1

(7)

① 講義内容について	<ul style="list-style-type: none"> 最後のビデオを振り返り感動、改めて介護の在り方を考えさせられた。尊敬で頑張ります。 自分の意思を通じえることの出来ない方の気持ちを汲みとりケアプランを作っていきたい。 福祉に携わりたいと初めて思った頃の気持ちを思い返せました。今日までの利用者様に対しての接し方に反省しています。 「その人らしい」OTの考えとして再認識でき、考え直す機会となりました。再度考えて日々にも動きたいと感じました。 「死は特別なものではない、生活の延長線上にある」最新のケアまで本人が望む事、その人らしい生活を支援する事の大切さを学んだ。
② 内容・在り方	<ul style="list-style-type: none"> 今回は、開始時間が遅かった。開始時間が中途半端。もう少し広い会場で行なってほしい。 長時間の講義は集中力を保つのが難しいので途中に5分程の休憩が必要と思う。後半は私語も増えていた。 職員心の質の向上とはとても必要だと思うので、今回のような講義を多く取り入れてほしい。 受付開始から講演開始まで時間が有り、業務終了後に参加することができたのでよかった。 今後色々なセミナーに参加していきたい。内容としては、「薬の副作用について」など。
③ 協議会への要望等	<ul style="list-style-type: none"> 全体のスタッフセミナーとは別に、テーマを決めたステップアップ研修(対人関係・コミュニケーション等)を行なってほしい。 駐車場がなく路上に停めました。駐車場の確保と車の誘導をお願いします。 今までに無い研修内容を検討し、セミナーを開催してほしい。 ホームページ上の申請書等の書式を活用させていただいています。ありがとうございます。

部会活動報告Ⅰ

通所リハビリ部会

通所リハビリ部会は8事業所で活動しております。年4回の定例会と通所介護部会との合同で年1回講習会を開催し、定例会では拡大運営会議の報告や現在直面している問題点についての情報交換と施設見学をおこなっております。

昨年度は小規模多機能ホーム「きらく荘」様のご厚意により見学させていただきました。合同部会では、甘木中央病院の理学療法士の池田先生に転倒予防について実技を交えてご指導いただき現場で翌日より実践することができました。今年度も、年間計画に沿って情報・意見交換など積極的にを行い、利用者の方によりよいサービスが提供できるように活動していきたいと考えております。



部会活動報告Ⅱ

通所介護部会

平成20年度 通所介護部会は17事業所で活動を行い3回の部会を開催致しました。

昨年9月には通所リハビリ部会との合同部会として研修会を開催。「転倒予防」について、転倒の割合、傾向、要因、状況等のメカニズム理論と共に、介助方法等の実技も取り入れた内容の物でした。70名以上の参加者となり、大変有意義な研修会となりました。

7月、2月に行った部会も毎回30名以上の参加者があり、他事業所との意見交換、情報交換は実のあるものになったのではないかと思います。



Hobby Box

～ つながる思い出 ～

介護用品ハーテック 藤原 綱さん

私の趣味はクレープ作り。根っからの甘党ということもありますが、実はひょんなことがきっかけで作るようになったもの。職場のオーナーが十数年前から地域の子どもたちに太鼓を教えていらっしやいて、ご厚意で私も補佐役という形で混ぜていただいています。夏場なので練習後はいつもジュースやかき氷などが振る舞われ、参加する子どもたちも大喜び。それでも十分といえは十分なのですが、やはり普通では面白くありません。そこで「お祭やお店でしか食べられないクレープを作ってみよう」ということになり、すぐさま業務用のクレープ焼き器と材料が揃えられました。しかしながら、いったい誰が焼くのか？・・・「君に決まっとうもん!」「・・・ハイ。」



ろくに包丁すら握ったことのない私がクレープ作り。粉の配合をはじめ、何から何まで初体験ばかりで、案の定、処女作は見事なまでの大失敗!ところが肝心のお味のほどは・・・ウマイ!？ 周りは「材料がいいけんたい」と、はやしましたが、これなら私の腕前でも喜んでもらえそうな予感がしました。

結果、クレープは子どもたちの大人気メニューに!「美味しい!」「もう1個ちょうだい!」と引っ張りだこです。クレープ焼き器の周りにはいつも子どもたちで溢れかえり、中には自分で作りたいと練習する子も。今ではそのひとりが私も驚く腕前に成長し、もうおまかせ状態です。そして、その子どもがまた別の子どもにも教えている場面を見かけると、こうやって思い出はつながっていくんだなと感慨深く、拙いながらも頑張って第1号をつくった甲斐があったという達成感が湧き起りました。

これからは、子どもたちが喜ぶ何かを私も積極的に考えていけたらと思っています。

My Way (今回の紹介者:介護老人保健施設 城山荘 藤田 正治さん)

朝倉記念病院ケアプランサービス 香月 貴広さん

まずはじめに、先のご紹介で香月貴広さんのお名前を誤ってお知らせ致しておりました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、香月貴広さんは、居宅支援事業所である朝倉記念病院ケアプランサービスで管理者をされています。朝倉記念病院ケアプランサービスは、朝倉市堤にあります介護老人保健施設デイケアセンターうらうらめと併設され、朝倉市内をはじめ、筑前町など朝倉郡内を中心に事業展開しています。

香月さんには、ご相談があれば、持ち前の軽いフットワークで相談に応じていただいています。ケアマネージャーとしては至極当然のことかもしれませんが、特に認知症や精神疾患などで、なかなか意向のお伺いしにくいご利用者の皆様に寄り添い、その代弁者的に提供する支援の内容を確認しながら、併せて、ご家族の側に立っても、双方の意向の両立を実現できる様、こまかく気配りされたサービスの提供に尽力されている頼りになるケアマネージャーの一人です。



今回は香月さんからのご紹介で

朝倉医師会ヘルパーステーションの 原 千賀子さんです!

介護スタッフリレーコラム

「独り暮らしの高齢者と訪問看護の関わり」

朝倉医師会訪問看護ステーション 看護師 野中 明子^{3A}

昨今は、独り暮らしを余儀なくされ、その上、病気・障害を抱えながらも、日常生活を送る高齢者の数が増えている社会の現状です。孤独感、いつ転倒するかわからない不安、年金生活で貯蓄が少しずつ減っていく経済的不安など、まだまだ私たちには想像できない不安をいくつも抱えて生活しているのだからと思われず。

訪問看護とのかかわりも5年が過ぎ、同居していた義姉も3年前に施設へ入所してしまつたため、全くの独居生活になりました。自分が仏壇の世話をし、家を守っていかなければいけないという強い責任感が「生き甲斐」にも繋がっているように思えます。だからこそ、利用者の意向を重視し、在宅生活を支援していきたいと思っています。

しかし現状は厳しく、介護認定を受けても自動努力で頑張る人は「出来る」の評価で「介護度は1」。前は要介護2のサービスを受けていた為、介護1の限度額内サービスでは生活が出来ません。当然オーバー分は自費になる訳です。介護サービス優先順位からいくと、訪問看護の利用は、月に1回のプランになります。

そんな中、何か異常事態発生時に、すぐに駆けつけて下さるかかりつけ医先生の存在は心強く、一番頼りにされています。先生との連携を密に行い、担当者会議では、ケアマネージャーを中心に情報の共有を行っています。今後も「限られたサービス時間の中で、少しでも安心出来る在宅医療生活が継続できる様に」利用者の気持ちに寄り添い、自己決定に従い、不安の軽減に努め、安全な生活を支援していくのも訪問看護としての役割の一つであると思っています。

徒然日記

太刀洗病院 S・T

～ エチケット ～

新型インフルエンザが世界中に広がりを見せています。すでに神戸・大阪をはじめとする日本各地で感染者が確認され、今後の推移が気にかかることろです。さて、この問題で改めて感じたのが、予防とエチケットについてです。感染しないようマスクを使用し手洗い・うがいは予防として定着しつつあるように思いますが、逆に咳をしている方が、

マスクを使用せず手も添えていない状況を多く目にします。そのような状態にあるときは、インフルエンザに限らずマスク等で、他の人に迷惑をかけないようにすることが、エチケットではないかと感じました。「思いやり」この気持ちをみんなが持てば、自然と定着するエチケットではないかと思えます。

編集後記

前号の「認知症サポーターをつなぐオレンジリング」に興味を持って頂いてでしょうか？認知症になると認知症の方だけでなく、ご家族の方も混乱し、戸惑ってしまうと思います。地域の方々も認知症に対する正しい知識を持ち、理解して頂くことで、「住みなれたまちであなたらしく生きるとお手伝い」ができるのではないかと思います。興味を持って頂ければ、ぜひ参加してみてください。さて、平成21年度の広報部のメンバーも一部交代し編集を行っています。前年度同様に原稿依頼をお願いすると思いますが、ご協力をよろしくお願い致します。



事務局
朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0814 福岡朝倉郡筑前町高田2311
特定非営利活動法人 武光福祉会
TEL (0946)22-9743 FAX (0946)22-5465

編集 / 発行所
朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-0228 福岡朝倉郡筑前町二242-17
(有)エム・エス・ケイ 介護用品ハーデック
TEL (092)926-8109 FAX (092)926-8109
印刷 / 井上総合印刷株式会社